

# 第2回 気候市民会議まつもと Climate Assembly Matsumoto

2024年9月28日（土）13:00～17:00

松本市役所 本庁舎 大会議室

主催：気候市民会議まつもと実行委員会

参加者：無作為選出された松本市民 48名

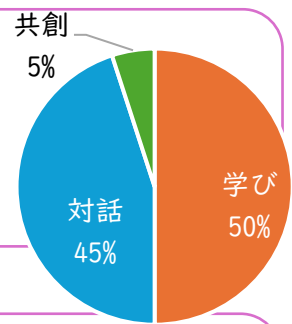
# 本日の主題



9月7日（土）第1回

テーマ：気候変動の現状

情報提供者：江守正多さん、浜田崇さん



9月28日（土）

第2回

テーマ：気候変動対策の取り組み

情報提供者：

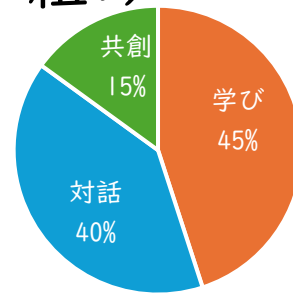
平林高広さん

（長野県 ゼロカーボン推進室長）

鈴木博史さん

（松本市 環境・地域エネルギー課長）

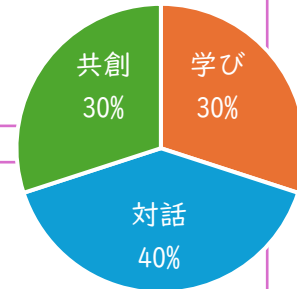
信州大学人文学部社会学研究室(Y-CAM)



10月26日（土）第3回

テーマ：気候変動対策の検討①

情報提供者：第2回までの議論を受けて調整



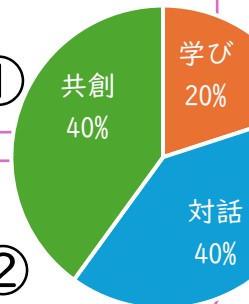
11月16日（土）第4回

テーマ：気候変動対策の検討②

情報提供者：第3回までの議論を受けて調整

12月14日（土）第5回

テーマ：市民アクションプランの検討①



2025年1月25日（土）第6回

テーマ：市民アクションプランの検討②

2025年3月頃

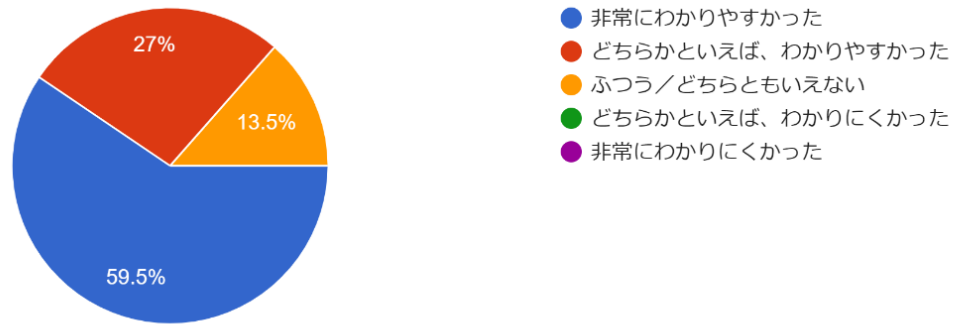
気候市民会議まつもと 報告会



# 第1回実施後の参加者アンケートの結果

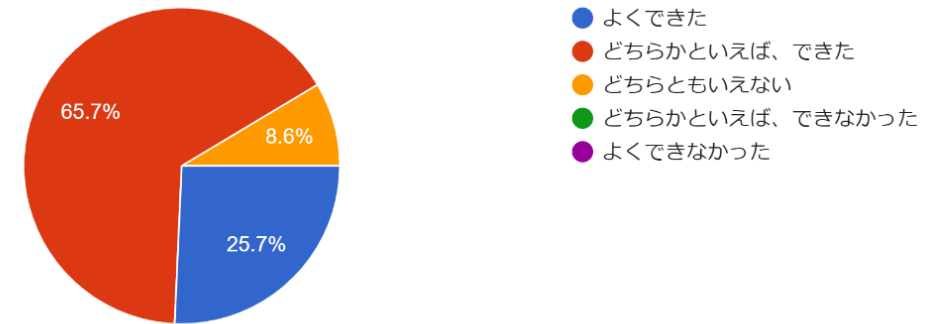
質問2. 情報提供の内容は、わかりやすかったですか。

37件の回答



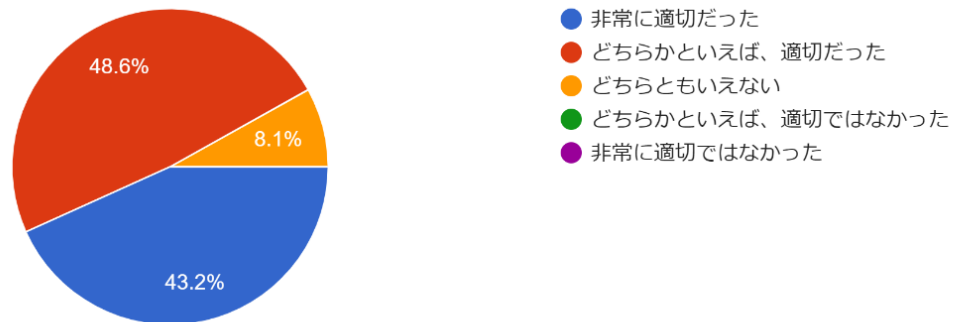
質問4. グループでの対話では、あなたは思ったことを発言できましたか。

35件の回答



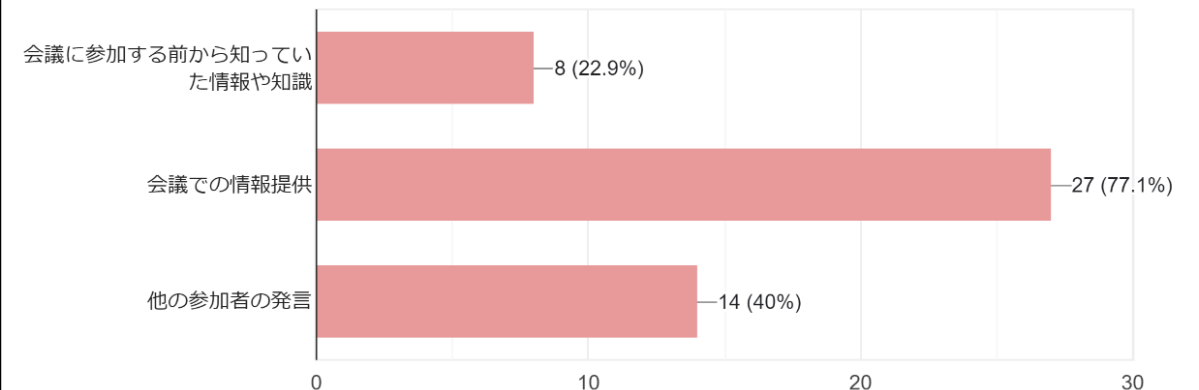
質問3. 情報提供の内容は、偏りがなく適切だったと思いますか。

37件の回答



質問5. グループでの対話の際、参考になったことは何ですか。

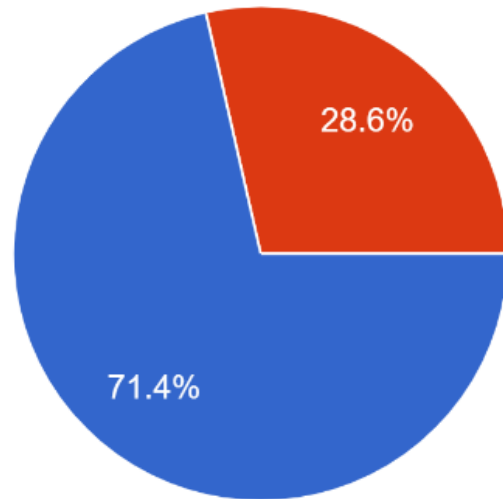
35件の回答



# 第1回実施後の参加者アンケートの結果

質問6. 今後の会議資料の受け取り方法について、あなたのご希望をお聞かせください。

35件の回答



- 紙の資料配付を希望する
- 紙の資料配付を希望しない（クラウドやメール送付があれば、PCやタブレット、スマートフォンなどで資料を確認できる）



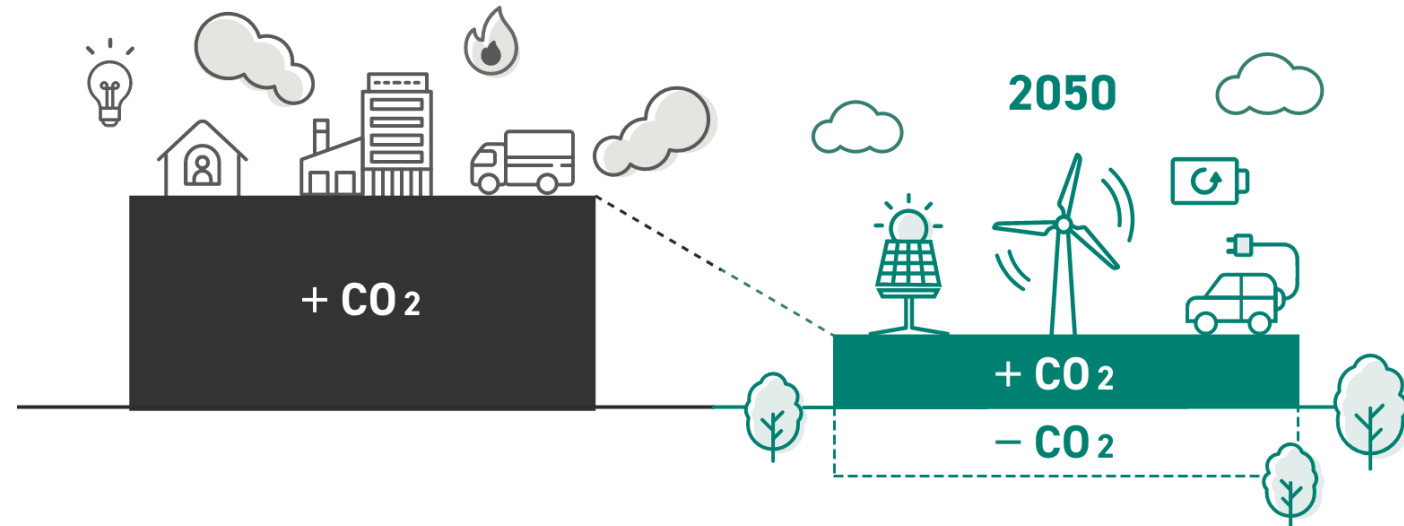
- ・ 今後も資料は紙に印刷して配布します。
- ・ オンライン化できる部分はオンライン化に努めます。
- ・ 資料をまとめるために、フラットファイルを用意しましたので、ご活用ください。

# 会議運営についてお気づきの点は？

- もう少しディスカッションの時間がほしい。
- リラックスした雰囲気の中で、意見を言いやすく運営されていた。
- 各テーブル上での会話が聞き取りにくかった。
- マイクの会話が聞きづらい。
- 机は教室型に配置してほしい。

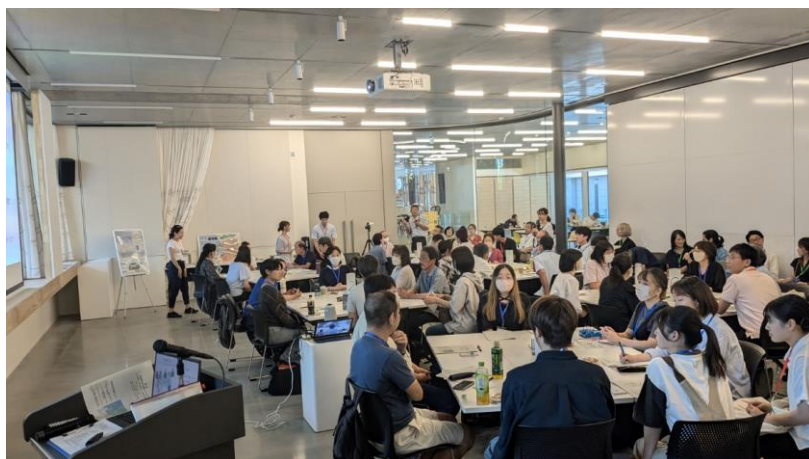
- 横文字を理解しているとして話を進められると戸惑う。
  - 「サステイナブル」「ゼロカーボン」って？
- サステイナブル Sustainable = 持続可能

- 脱炭素／ゼロカーボン／カーボンニュートラル／climate neutral (UNFCCC) ／net zero emission いろいろな言い方
- 二酸化炭素排出量を森林吸収量と相殺して「正味ゼロ」とすること





# 第1回CAMのふりかえり 統括ファシリテーター Y-CAM



## 気候市民会議とは？

- だれが？  
社会の縮図となるように無作為に選ばれた数十人～百数十人の参加者が
- どのように？  
バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体でじっくりと議論（熟議）し
- 何をする？  
議論の結果を提言などの形でとりまとめる
- 何のために？  
とりまとめた結果は、脱炭素社会の実現に向けた効果的な政策・対策を生み出すために活用する



※1970年代から複雑な社会課題の解決方法を話し合う「ミニ・パブリックス」の取り組み。  
※2019年以降、欧州を中心に国と自治体の双方で気候市民会議(Climate Assembly)が多数展開。  
出典：KNOCAウェブサイト  
<https://knoca.eu/map-of-national-assemblies/>

## 気候市民会議まつもと (Climate Assembly Matsumoto, CAM)

松本市のゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組みをさらに進展させるため、市民自らが行動すべき事柄を検討し、アクションプランとしてまとめ、松本市民および松本市へ提言することを目的として開催します。



# 気候変動の現状

## 2人の専門家から情報提供を受けました

江守正多さん：「気候変動問題の現状とこれからの社会」

- 温室効果
- 人為による温暖化
- 様々な環境変化
- 現状の排出削減はまったく不十分
- 排出削減の手段は存在し、すでに安価になっているものも
- 我慢によらず、社会の仕組みが変わる必要がある

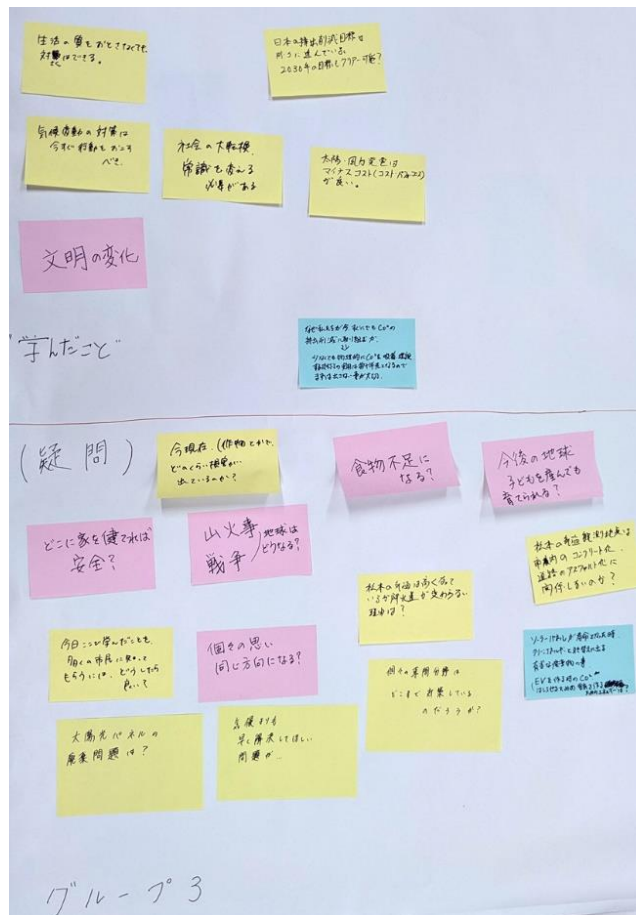
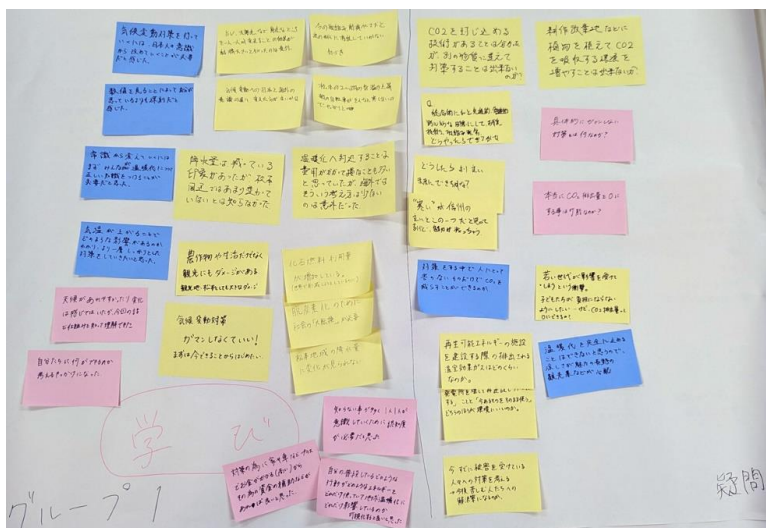


浜田崇さん：「松本市域における気候変動とその影響」

- 気候変動は地域毎に特徴がある
- 松本でも温暖化は進行している。100年間で猛暑日20日増、冬日53日減少
- 農業、林業、観光業に影響
- 気候変動対策には「緩和」と「適応」の2方向の取り組み



# グループ対話 学んだこと／感じた疑問や心配ごと



松本市ウェブサイトで開催報告を公表してあります。  
参加者の皆様もぜひご覧ください。（全ての付箋を文字化してあります。）

松本市

閲覧補助

Language

検索

重要なお知らせ

暮らし・安全

子育て・教育

健康・福祉

住まい・交通

環境・水道

しごと・産業

観光・文化・スポーツ

基本情報

## 会議の記録

### 第1回気候市民会議まつもと 令和6年9月7日（土曜日）

第1回の気候市民会議を9月7日（土）に松本市立博物館で行いました。当日は、東京大学の江守教授、長野県環境保全研究所の浜田主任研究員を講師にお招きし、気候変動の気候変動の影響等を講演いただきました。

専門家からの情報提供を踏まえて、参加した市民の方は、それぞれが学んだことや疑問、心配ごとを共有しました。

#### 【資料】

- [気候市民会議の意義と気候市民会議まつもとの趣旨説明 \[PDFファイル/1.22MB\]](#)
- [「気候変動問題の現状とこれからの社会」江守正多氏 \[PDFファイル/4.04MB\]](#)
- [「長野県における気候変動とその影響」浜田崇氏 \[PDFファイル/9.88MB\]](#)



みなさん、第1回目の会議お疲れさまでした。

#### 【開催報告】

- [第1回気候市民会議まつもと 開催報告 \[PDFファイル/3.02MB\]](#)